

表紙の言葉

本誌は5号ごとにタイトル表記を変更しています。01号から05号までは英文表記の「Universal Design」、06号から10号まではカタカナ表記の「ユニバーサルデザイン」を用いました。この号からは、イニシャル表記のUDです。10号までは、アメリカ生まれのユニバーサルデザインを吸収し、日本型UDを模索し続けた期間でしたが、これからはユニバーサルデザインを社会的なムーブメントのキーコンセプトとしていく時代です。その強い思いが、「21世紀の社会システムをデザインする」という言葉に込められています。



21世紀の社会システムをデザインする



目次

CONTENTS

日経UD
ビジネスフォーラム
報告集

本年2月に開催された「日経UDビジネスフォーラム」における全発言を集めたノーカット版の報告集です。最終ページからお読みください。

MAIL BOX 編集後記 / ユニバーサルデザイン・コンソーシアムのご案内 / バックナンバー

自治体フォーラム

- 知事インタビュー
梶原拓氏 岐阜県知事 聞き手 梶本久夫 本誌編集発行人 68
地域の要望をきめ細かく集める現場主義がモットーです
- 市町村レポート
岐阜市「水と緑のネットワーク」の構築と岐阜駅周辺をリアル 72
高山市「住みよいまちは行きよいまちが合い言葉」の観光バリアフリー都市 74
可児市「国難や文化の壁を越えて、多文化共生のまちづくり」 76
ユニバーサル・プロジェクト
Lサイズ版の県広報紙「ユニバーサルファッショ」／福祉メディアステーション 78
UDレポート ● 北岡敏信 UDC主任研究員
長野県民から岐阜県民へ、越県合併で地図が変わる 80
アトラス・ノート
経済指標、生活指標 82

福祉文化

- 都市環境デザイン
環境先進地カールスルーエの都市ルネッサンス 46
松田雅央 NPOドイツ環境センター
- プロダクトデザイン
汚れが落ちやすく持ちやすい「美濃Re食器」 50
現代ダンディズム考・水木しげる(漫画家) 54
深い闇が妖怪を生む 闇は心を慰めてくれる
- 教育の現場から
「共生をテーマにUDプロダクトを制作」桑沢デザイン研究所プロダクトデザインユニット 56
石井賢俊 NIDOインダストリアルデザイン事務所所長 本間英樹 専任教員 中田和裕 専任教員
- 医療と福祉の現場から ● 小平慎一 UDC主任研究員
介護の現場で、車いすが病気になる 60
「改正ハートビル法」、交通バリアフリー法 64
「改正ハートビル法」、交通バリアフリー法 64

フォーラム

- 事例
「ふれあい横浜ホスピタル」／「シアホテル横浜」神奈川県横浜市 34
元ホテルの用途変換により、生まれ変わった都市型病院と高齢者用滞在施設
- 社会保険「蹴沢病院」
蹴沢社会保険介護老人保健施設「サンビューかじかざわ」山梨県蹴沢町 38
老健施設との一体化による医療・福祉の連携
- 総合老人福祉施設「福寿園・さくら荘」福島県原町市 42
街並みと調和する瓦屋根の低層建物による特養とケアハウスの一体化
- 「鼎談」河口豊 広島国際大学教授
伊藤一章 伊藤喜三郎建築研究所代表取締役社長 28
浪川 宏 伊藤喜三郎建築研究所専務取締役
医療・福祉施設は地域社会を映し出す「文化施設」です

特集

- 「鼎談」スポーツの未来図・ユニスポとは何か 10
バリアのないスポーツ環境をめざして
野村一路 日本体育大学助教授
- ユニスポ図鑑・プログラム 18
気が付けばユニスポだ！ だれもが主人公に
- ユニスポ施設の考え方 22
W杯施設と小学校グラウンドに見るユニスポ施設の方向性
- ユニスポ元年・近代スポーツの流れ 24
英国生まれの近代スポーツからユニスポへの時間軸をたどる
- 総合型地域スポーツクラブにUDを 26
総合型地域スポーツクラブをユニスポ・センターにしよう
- ユニスポ的スポーツイベント 14
スタジアムに熱狂を生み出す見る「支える」群像を追う
北岡敏信 UDC主任研究員

特集 Uni-Spo
Universal-Sports
スポーツの
ユニバーサルデザイン

視点
論点

- ユニバーサルデザインと市民連携
市民一人ひとりが、自立しないと
ユニバーサルデザインは実現しない
- 対談 小島直子 バリアフリーコンサルタント
野村 歡 日本大学教授

岐阜県

